

ありす会会報

第5号



発行所

國學院女子短期大学
ありす会

〒073
北海道滝川市文京町3丁目1番1号
TEL 0125-23-4111(代)

創立五周年記念事業の 成功を期して



学長

西岡

弘

國學院女子短期大学で卒業の皆さん、その後もお元気で、それぞれの持ち場で凛凛しく活躍のこ
とと、お喜び申し上げます。

母校のおかげでこの春、創立満五周年を迎え、この間の卒業生は一〇七九名(国文三三八・英語二五八・幼教四八三)、現在在校生四五〇名と着実な進展をとげ、今春の就職状況は道内短大最上位の九六％という好成绩を挙げることができました。これひとえに本学の隆昌を援助して下さいました市当局始め関係諸機関、並びに渋谷本校、そして何といても皆さん方のこれまでの真摯なご努力の成果

によるもので、われわれ教職員一同は、深くこの点に思いを致し、この記念すべき年に一層の発展を期しております。

そこでまず第一に、國學院の名にかけても、礼儀正しい、ことばづかいの美しい学生になってほしい、ということを目標にしており、これは皆さん方のよき伝統を継ぐ意であります。第二に、各種の新しい資格取得のためのカリキュラムを組むことです。図書館司書教諭・同司書・秘書士・社会福祉主事などの資格がそれで、目下鋭意文部省との交渉や、開講科目の検討をいたしております。

第三に、本学創立五周年記念の行事を今秋に準備しております。すなわち、(イ)十月三日(土)

・小泉弘・嵐山光三郎両先生の講演、(ロ)十月四日(日)、十二音会による「雅楽」の公演であります。東京からはるる十六名のこの道の専門家であり、十二音会の方々の管弦(越殿楽・陪臚その他)・舞楽(陵王・貴徳)などの演奏は、北海道では破天荒のことと存じます。(イ)(ロ)共に滝川文化センターで開催されますが、今から卒業生の皆さんのご参会を得て、共々にお祝いしたく存じておりますので何分よろしく願ひ上げます。(ハ)次に、大学は学園の府でありますから、その顔ともいべき國學院女子短期大学紀要の記念号を編纂する準備をしており、従来に倍する諸先生の玉稿を頂くことになっております。

かようなわけで、いま学内はこの空知の大地のみずみずしい息吹

第三回 ありす会総会・懇親会

開催日決定

九月十二日・タイムスリップ

空のたたずまいもいつか秋めいてまいりましたが、ありす会員の皆さんには益々清祥のことと思ひます。

さて、第三回ありす会総会、懇親会を左記のとおり開催いたします。今回は、一人でも多くの方に出席していただけるように開催日を今までの八月下旬を

い。

九月中旬に、日曜日を土曜日と変更いたしました。なにかとご多忙とは思いますが、万障お繰り合せのうえぜひご出席下さいますようご案内いたします。

記

一日 時 昭和六十二年九月十二日(土)

午後五時より

一 場所 滝川ホテル 三浦華園

一 会 費 金五千元(当日受付)

一 申込方法 同封のハガキをご利用下さい。

※ 返信ハガキでは、皆さんの現住所・現職場等を再確認し資料として使います。出席できない場合も必ず返信のご協力をお願いいたします。

きをおのが息吹きとし、石狩の流れのごとき永遠の発展を期して、教職員・学生一体となって頑張っています。どうか卒業生ありす会の皆さん、いよいよご健勝に、そして本学の学生募集にも、就職に



先生からのメッセージ

出席された方はお判りのことと

思います。過去二回の総会は決して盛会とはいえない参加者数でした。私共事務局の者は、今度こそ何とか多勢の参加を得て思い出深い総会にしたいものと考えて参りました。そこで、諸先生には大変煩わしいこととは思いつつ、個々の先生方から卒業生に対して直接呼びかけていただこうと考えた次第です。

恐る／＼先生方にお願ひしたところ殆んどの先生方が卒業生への温かい思いやりを記して下さいました。一人一人の先生方のお顔を思い浮かべつつお読み下さい。懐かしい学生時代に「タイムスリップ」することでしょう。

総会は年に一度、学生時代に戻ることのできる七夕の日なのです。皆さん、お忙しいこととは思いますが、何とかやりくりをして参加してみませんか。

みなさん、お元気ですか。
元気ですよ。社会の各層で、あるいは既に家庭人として、毎日忙しい生活を送っておられることと

存じます。

みなさんがひとつひとつ築きあげてこられた本学の礎も、ようやくしっかりと根をおろしはじめていきます。後輩諸君も、みなさんに負けず劣らずがんばっています。伝統のありす祭は、今年度は、六月に開催されました。学生会を中心にみんなよくやりました。とても楽しいものになりました。うれしいことです。

私も、みなさんそして在校生の学生諸君ともども大胆に未来へ飛翔したいと思ひます。
それにしても、もの忘れのひどさ、足腰の衰え——何とかならんもんかネー。

(栗田 義彦)

すずらんの花の薫る道

大学の前の道路ぞいに、すずらんが植えられているのを知っておられると思う。このすずらんも五年を経過してすっかり根づいてきたようだ。少し土が硬いように思うが、がんばって根をはって育っている。春になると白い花をつけ、すずらん特有の甘い薫をただよわせる。車の排気ガス等都会の匂いは人の心を索漠とさせるが、

この可憐な花から薫る何ともいえないすずらんの花の薫る心なごませてください。

今は花が落ちて青い実がなっている。やがて赤い実になるに違いない。

五年の歳月を繰りなして、すずらん道は大学の前に薫と緑を育てつつ伸びている。

(安藤 忠吉)

卒業生の皆さんお元気ですか。

滝川の町にも夏がやってきました。今在校生達は前期の試験で、より暑い夏を送っています。試験は学生諸君には嫌なものでしょうが、卒業生の皆さんはひよっとすると案外なつかしく思い出したりしているかも知れませんね。

学校も六年目を迎え、一つの節目を通りすぎました。特に英語科では昨年よりも倍近い学生が集り学内も大分活気が感じられるようになりました。本当にうれしいことです。来年はもっと多くの学生達がこの滝川を目指してくれることを期待しています。そのためには卒業生の皆さんの力がどうしても必要です。折にふれて学校の PR をして良い学生を集める手助けをして下さい。

すます國學院の輪が広がって行くようです。
それぞれの職場で頑張っている諸君のこともちろんほらと聞えて来ます。これもうれしいことです。
そんな諸君にお目にかかれることを楽しみにしています。

(飯田 學 而)

ありす会のみなさん、お元気で、それぞれの立場で活躍されておられることと存じます。

家庭において、職場において、社会において、その生き甲斐をもって活動されている姿は、在校生に対する励みになり、またこれが母校の良き学風の形成へとつながることを考えて素晴らしいことであると思っています。年々大きくなりすありす会の大先輩として会のつながりと発展に貢献されることを期待します。私は本学にまいりまして、國學院の創建の精神に触れ、その精神は二十一世紀に生きる日本人の「もとつ心」を示唆されていると年々その確信を強めております。

素晴らしい伝統に輝く本学の卒業生であることの矜持を肝にまします銘ぜられて、会員おひとりおひとりの幸せと、ありす会の発展のために、ご健勝を心から祈念いたします。

(池田 静 治)

昭和六十年四月國學院女子短期大学にまいりました。

その年から、二年目の方には保育内容「言語」を、一年目の方には児童文学を講義してまいりました。

松谷みよ子へたりつくのは、いつも秋頃でした。

絵本づくりは今も卒業生の絵本は、私の研究室にあります。皆さんの歩みが、今の在校生にはたいへんな手本となっていて、絵本づくりのはじめにそれを見せると「ああ、そうか」とわかっていただけます。

日高町での宿泊研修、全学同一宿舎というプログラムは、この年が最後です。私のチームの方々(相談員グループの皆さん)は、チームワークよく、私は足をあげたり手をふったりみんなのまねをしているばかりでしたが、優勝でした。もう三年目の半ばですが、卒業生の皆さんとお会いできることは、うれしいです。去年の大学祭も思い出にのこります。

(大井 源 一 郎)



夏だ暑い
ビールで乾杯だ
うまいうまい のど仏が踊りだす
心もはずむ
秋だ爽快
実りの季節だ
うまいうまい 元気もりもり
話もはずむ

(大宮 快雄)

昨年四月から国文科に参りました柏村静子と申します。当年とって六十四才、青春の真只中にいらつしやる皆様から御覧になったら、大変なお婆ちゃんです。でも気持は学生気分のまま、精神年齢が低いので皆様とはお友達のようなつもりでおります。去年ありす会に出席いたしまして、母校愛に打たれました。東京から駆け付けて来られた方にもお会いしました。卒業生の方々がそれぞれの所を得て活躍していらつしやることを知ることは大変うれしいことです。今年もどんな方にお会いできるかと楽しみにしております。

(柏村 静子)

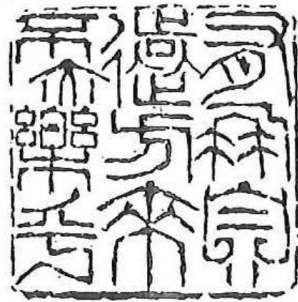
母校の歩みを見守ってください。母校を愛してください。ありす会も満足四年目を迎え、事務局の皆さんは、一生懸命です。

(木村 慎代)

同窓会は「心のぬくもり」のつどいです。

学生時代の楽しかったこと苦しかったこと、そして社会人としてのその後の生きざまを語り合うことは、必ず、明日からの生活の新たなエネルギーとなることを信じて疑いません。一人でも多くの方々の参加をお待ちしています。

(小泉 弘)



有朋自遠方來
不亦樂乎

丁卯仲秋
小林孤舟刻

卒業生の皆様その後お元気ですか。

フランス語など忘れてしまったでしょうね。でも一緒に聞いたシャソソソや一緒に見た映画のことは時々思い出して下さい。近頃、ほんの少しだけ、やさしくなりました。このような気がします。これも命令のせいかなあ……

(橋本 征子)

卒業生のみなさん、元気ハツラツ若さいっぱい毎日の生活を大いにエンジョイしていることと思います。私もあいかわらずジャージイを着て、大学中を走り廻っております。(近頃、トシには勝てず若干息切れが目立ちます) ピチピチのみなさんに会えることを楽しみにしていますよ。

(寺岡真知子)

皆さんお元気ですか。

まだ学生の人、OLしている人、中には「キャプテン」とか「チーフ」と呼ばれている人、「奥さん」と呼ばれている人もいます。そして「お母さん」と呼ばれている人も。そろそろ昔の仲間会ってみたいかなあ。これも命令のせいかなあ……

(牧野 多聞)

皆さん、お元気ですか。國學院女子短大も開学して六年目を迎え、卒業生も四期生まで送り出しました。

月日の流れるのは速く、皆さんの中にはすでに母親になった人もいます。子育ての悪戦苦闘が目に浮びます。

恋愛中の人もいます。うまくいきそうでない、自分でもっと理解できない摩可不思議な心理状態のひととき。楽しく過していますか。

恋愛相手が見つからず、さみしい心をいだいて日々を送っている人もいます。けれど、特定の人物を限定していないだけのことで、可能性は、少くとも可能性だけは、結婚した友人や恋愛中の友人たちの誰よりも、はるかに、はるかに大きいのです。月日の流れは、私にも容赦なく変化をもたらししました。滝川に移り住んだときには、たった一人の配偶者がいるだけでしたが、いつの間にか、二人の子供が大きな顔で同居し、私の生活空間を脅かしています。ときどき、私の講義の中にも登場して、悪しき見本となっています。(長男は現在、幼稚園に通園しています。担任は卒業生の小川先生です。私の子供の実態を

もっともよく知っている数少ない人物です。小川先生まことに御苦労さま。心中お察しします。)

結婚五年、子供二人の生活に、結婚と離婚の講義は年々リアルティをまし、ますますミガキがかかっています。でも、現実の私の生活は不安でいっぱいです。

皆さん、現在・過去・未来の様々な思いをかかえて、滝川へ、母校へ集いませんか。

そして、もう一度、短大生の頃自分をふり返って、友人や先生方と語りあい、新しい自分を明日へ向けて送り出してみませんか。同窓会という心の卒業式で……

(平野 泰樹)

少々場ちがいな表現かも知れませんが温故知新を思い出してください。学生時代の素晴らしい青春を語って新しい未来を考えようではありませんか。

(金山 勝也)

お元気ですか。お会いして話をきかせてほしいと思っています。特に学校教育、家庭教育が先細りしていくような毎日を感じています。どうなっていくのでしょうか。つづきはお会いしたときに……

(谷内 鵠)

三浦華園にてありす会ありと
開きて読める歌三首

これやこの國の學び舎離れては
逢ふも逢はぬもありす会

小泉 大臣

注「國の學び舎」は國學院女子
短期大學のこと也。

天つ風吹きたる後は愛を得て
乙女等は嫁に行きなむ

北條 遍昭

注「行き」は連用形にて、「な」
は強意、「む」は推量なり、
よみて右の歌の意は「乙女等
は嫁に行きてしまふにちがひ
なし。「嫁に行きて欲しい」
にはあらず。

時を早み二年過ぐしたる滝川を
忘れはせぬかと一人酒飲む

村山朝臣昌俊

注村山朝臣は未だ嫁なきが故、
一人にて酒を飲むなり。

かくたはぶれごとを言ふは、賤し
きをのこ狩侯のこつじきなり。

(狩俣恵一)

幼児教育科卒業のみなさんお元
氣ですか。特に、一・二期生のみ
なさんとは、学園づくりに共に努
力しましたね。

六年生になった本学は、当時と
くらべて着々と発展していつてお
ります。

みなさん方は、社会人となって
大きく変容していることでしょ
う。

お会いして、楽しく語りあいた
いと願っております。

(吉野幸男)

暑い日が続いていますが卒業生
の皆さんお元気で活躍のことと思
います。幼児教育科では今、秋か
ら始まる実習にむけてその準備を
しているところです。

時折、滝川市内の街角や札幌の

雑踏で何人かの卒業した皆さんと
出会うことがあります。誰もが大
きく成長し、元気な様子が短い会
話の中からうかがえます。たと
え、二年間という短かい期間であ
ってもおなじ学舎で過ごした日々
の中で培われたつながりが懐しく想
い起こされるひとときです。

同窓会の日、お互い誘い合っ
て顔をみせて下さい。きっと明日
への挑戦のエネルギーがその中か
ら生まれてくるものと思います。

(川守田正康)

お元気で過ごしていることと思
います。社会人として、学生として
或いは主婦としてご活躍のことと
思いますが、一層のご活躍をお祈
りします。

(村山昌俊)

みなさんいかがお暮らしです
か。今年も新しい学生たちとの
出会いがあつて、いろいろな刺激
を受けております。

みなさんが社会に出て学んだこと
なども聞かせて頂くとまた異った
刺激となることでしょう。

年を加えてゆくとマンネリ化する
危険があるので、どんどん豊かな
刺激を受けていたいと思つていま
す。

(林美枝子)

今年もありす会の時を迎え、年
一回、月こそ違いますが恋しい
織女星を待つ牽牛の心境で多勢の
卒業生の皆さんとお会いできるこ
とを期待しています。

(北條俊朗)

卒業生の皆さん、益々ご健勝の
ことと存じおよろこび申し上げます。
皆さんのご活躍の様子が伝わっ
て来ます。

ありす会にお元気なお姿を見せ
て下さい。お待ちいたしております。
(菅原馬吉)

卒業生のみなさんお久しぶりで
す。暑さにもめげず元気にご活躍
のことと存じます。

早いもので短大も開学六年目を迎
えました。この三月には第四回

の卒業生を送り出しました。いつ
もながら自分の涙もろさに腹が立
ちますが、別れの涙つても切な
くて仲々味わい深いものだと思
います。私共にとつては新入生が又
入学してくるのもごく間近かなん
だ、と感じさせてくれる三月でも
あります。

四月に第六期生が入学すると間
もなく六月には第六回ありす祭が
実施されました。これまで十月の
大学祭に馴れている私共教職員は
もちろん学生諸君にとつても大き
な変革でした。しかし、それはそ
れは立派に成し遂げましたので先
輩諸姉におしらせしておきます。
気候もよく、九・十月の就職活動
が心配な二年生にもよかったと思
います。

年に一回の卒業生の交流会です
から、もっともっと盛大なもので
あつてほしいと日頃思つておりま
した。

こんなメッセージでもコミュニ
ケーションの一助となるならば：

(菅野亞来男)

おあいできる
そのひを
たのしみにしています
ぜひおこしください
ソームのヒラノです。

(平野富康)

ここから先は自分らしく。

国文学科 (国文学コース・文化文芸コース)
英語科 (英会話コース・英米文化コース)
幼児教育科

特別推薦入学
1月23日(月)

推薦入学
1期: 12月6日(日)
11期: 1月24日(日)

試験入学
1期: 2月11日(木)
11期: 3月16日(水)

国學院女子短期大学

〒073 北海道滝川市文京町3丁目1番1号 TEL 0125(23)4111